

# 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

( 00004 )

施策	04	利便性の高い快適な都市基盤の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 経理市街土木管理土木計画狭あい土木事務

施策目標  
 道路と鉄道の立体交差化により、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、地域の安全性や利便性が向上するとともに、地域コミュニティの活性化が進んでいます。また、狭あい道路の拡幅と電柱のセットバックが進み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの整備により、誰もが暮らしやすく、快適で魅力あふれるまちになっています。

活動指標	成果指標
指標名(1) 杉並区バリアフリー推進連絡会等の開催回数 算式・指標説明	指標名(1) 区内での定住意向 算式・指標説明 区民意向調査による
指標名(2) 沿線まちづくり活動団体支援数 算式・指標説明 まちづくり協議会への参加・協力等の回数	指標名(2) 都市計画道路(区道)完成延長 算式・指標説明 区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長
指標名(3) 道路拡幅整備距離 算式・指標説明	指標名(3) 算式・指標説明
指標名(4) 南北バス「すぎ丸」運行本数 算式・指標説明	指標名(4) 算式・指標説明
	指標名(5) 算式・指標説明
	指標名(6) 算式・指標説明

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績					
活動指標	活動指標(1)	1	回	2	2	2	2	/	/		
	活動指標(2)	2	件	50	35	38	30				
	活動指標(3)	3	m	7,410	10,000	7,595	10,000				
	活動指標(4)	4	本	79,401	79,364	79,318	79,364				
成果指標	成果指標(1)	5	%	87.0	89.0	86.9	90.0	90.2	90	令和 3年度	
	成果指標(2)	6	m	7,022	7,022	7,022	8,052	7,022	8,052	令和 3年度	
	成果指標(3)	7									
	成果指標(4)	8									
	成果指標(5)	9									
	成果指標(6)	10									
施策コスト	事業費	11	千円	5,165,530	5,578,041	5,121,261	5,379,228	5,046,466	特記事項		
	(内) 投資的経費等	12	千円	2,260,095	2,488,803	2,217,382	1,206,795	1,131,911			
	(内) 委託費	13	千円	3,883,745	4,394,676	4,038,661	4,241,259	3,991,647			
	職員数	常勤職員数(再任用含)	14	人	91.77	84.35	86.94	84.03	93.39		
		上記以外の職員	15	人	12.50	15.50	17.50	19.00	14.00		
	人件費	16	千円	804,497	718,534	752,519	729,517	778,046			
	総事業費	17	千円	5,970,027	6,296,575	5,873,780	6,108,745	5,824,512			
	国・都からの補助金等	18	千円	532,633	625,886	605,220	247,975	278,139			
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	19	%	/	/	1.6	3.0	0.8			
	人件費比率 (16÷17)	20	%	13.5	11.4	12.8	11.9	13.4			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>新たな地域交通の整備では、エイトライナーの実現が、南北交通の不便解消や高齢化の進行する中で移動しやすい交通として期待されています。鉄道連続立体交差事業では、京王線、西武新宿線の沿線各駅周辺地区まちづくり方針」で掲げるまちの将来像の具体化に向け、鉄道の立体化と地域の一体的なまちづくりを進めています。道路台帳の整備では、新たに創設された街区境界調査の手法を活用して地籍調査を効率的に実施していきます。狭あい道路拡幅整備事業では、発災時の円滑な避難及び通行を確保するとともに、良好な住環境を整備するため、より一層の整備促進が必要となっており、また、防災性の向上や利便性の高い快適な都市基盤を形成するため、「東京における都市計画道路の整備方針」や「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき都市計画道路や生活道路の着実な整備が必要となっています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>新たな地域交通の整備では、区民の利便性の高い移動環境の創出に向け地域公共交通計画を策定するため、地域公共交通活性化協議会を設置しました。ユニバーサルデザインのまちづくりでは、重点整備地区の方南町駅周辺地区でバリアフリー化が進みました。一方で、「杉並区バリアフリー基本構想」の改定に当たっては、重点整備地区の精査と移動等円滑化促進方針の策定などが主な課題となっています。鉄道連続立体交差の推進では、西武新宿線の連続立体交差化計画及び井草駅周辺の駅前広場計画等について都市計画決定を行うとともに、駅前広場等事業予定地の先行買収や事業化に向けた取組を進めました。京王線連続立体交差事業については、関係各所との連絡・調整を行うとともに引き続き沿線まちづくり活動団体の支援を行いました。</p> <p>また、「杉並区無電柱化推進方針」に係る取組では、整備効果の高い路線として選定した区道2096-1号線について工事着手の準備を進めました。効果的に無電柱化を進めるために「無電柱化推進方針」の見直しが必要となっています。補助132号線の事業認可区間については、新型コロナウイルス感染症の影響により用地折衝に課題が生じましたが、引き続き折衝を進め、着実に用地を取得していくことが必要です。狭あい道路の拡幅整備については、建物の建替え件数が減少にあることから整備延長が目標に達しませんでした。引き続き区からの働きかけを強化して拡幅整備を進めていきます。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>誰もが気軽に移動できる利便性の高いまちをつくるため、令和4年度に地域公共交通計画を策定する予定です。交通事業者等と連携し、MaaS等新技術を活用しながら区民の公共交通の利用促進を図っていきます。新たなモビリティサービスの導入検討においては、グリーンスローモビリティやシェアサイクルの実証実験を実施していきます。また、杉並区バリアフリー推進連絡会での意見交換などを通じて、バリアフリー化整備事業の見直しを行いユニバーサルデザインのまちづくりを着実に進めていきます。鉄道連続立体交差事業では、事業認可に向けた用地測量やその後の用地買収等を計画的に進めていきます。また、都市計画道路・主要生活道路の優先整備路線の整備を引き続き区民の意見丁寧に取り取りながら進めるとともに、安全・安心で利便性の高い移動環境を創出するため、「杉並区無電柱化推進方針」の改定に向けた検討を行っていきます。狭あい道路拡幅整備については、災害に強いまちの基盤づくりに向けて門や塀の除却費などの助成金制度を活用し、戸別訪問により更なる拡幅整備に努めていきます。</p>
--------------------------	--

# 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

( 00005 )

施策	05	良好な住環境の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	住宅課	関係課 都市整備部管理課 市街地整備課 企画課

施策目標  
 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。  
 区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっていきます。まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

活動指標	成果指標
指標名(1) 長寿命化修繕工事の工事が所数 算式・指標説明	指標名(1) 住環境に満足する区民の割合 算式・指標説明 区民意向調査による
指標名(2) 区営住宅管理戸数 算式・指標説明	指標名(2) 最低居住面積水準未滿の住宅に住む世帯の割合 算式・指標説明 住宅・土地統計調査による(調査は5年に1度。令和元~3年度は平成30年度調査の実績値)
指標名(3) 高齢者住宅管理戸数 算式・指標説明	指標名(3) 算式・指標説明
指標名(4) 民間アパートあっせん申請件数 算式・指標説明	指標名(4) 算式・指標説明
	指標名(5) 算式・指標説明
	指標名(6) 算式・指標説明

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 所	4	2	2	0	0	
	活動指標(2)	2 戸	944	944	978	978	978	
	活動指標(3)	3 戸	353	353	353	353	353	
	活動指標(4)	4 件	162	200	141	200	143	
成果指標	成果指標(1)	5 %	92.6	94.0	92.6	95.0	93.7	95 令和 3年度
	成果指標(2)	6 %	15.7	12.0	15.7	5.0	15.7	5 令和 3年度
	成果指標(3)	7						
	成果指標(4)	8						
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	1,144,758	1,383,883	1,337,416	1,174,258	1,059,887	特記事項
	(内) 投資的経費等	12 千円	104,616	99,405	99,405	9,405	9,405	
	(内) 委託費	13 千円	551,845	593,835	565,272	576,590	484,923	
	職員数	14 人	36.11	35.50	36.13	33.70	35.53	
	上記以外の職員	15 人	11.00	11.00	13.00	13.50	13.50	
	人件費(14+15)	16 千円	331,806	326,489	339,998	317,557	328,251	
	総事業費(11+16)	17 千円	1,476,564	1,710,372	1,677,414	1,491,815	1,388,138	
	国・都からの補助金等	18 千円	142,426	172,310	131,282	116,973	112,874	
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	19 %			13.6	12.8	17.2	
	人件費比率(16÷17)	20 %	22.5	19.1	20.3	21.3	23.6	

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>東京都では、「東京都住宅確保要配慮者賃貸住宅供給促進計画」を策定し、住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅の供給促進や空き家の利活用等に取り組んでいます。また、「東京都におけるマンションの適正な管理の促進に関する条例」に基づき、マンションの管理不全を防止し、市街地環境の向上に取り組んでいます。</p> <p>また、まちづくりに対する住民の関心の高まりから、住民発意によるまちづくりの取組が増えていくことが予想されるため、地域の特性を踏まえながら課題等を解決していく地区計画制度を活用したまちづくりの推進を目指します。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>住宅確保要配慮者に対するアパートあっせん事業の実施は、令和3年度申請件数は143件で、物件情報提供率は約90%と高い水準となっています。</p> <p>良好な住環境の保全・形成を推進するためには、区営住宅・高齢者住宅管理数を維持しながら、既存住宅ストックの有効活用を図る必要があることから、区営住宅の長寿命化修繕工事を引き続き行いました。また、空き室修繕を行う際には、高齢者の日常生活に対応した住宅整備を進めたほか、特定空家等に準じる老朽危険空家の除却工事費用を助成し、所有者による自発的な除却を促すなど、管理不全な空家等についても改善を図ることで良質な住環境整備に努めました。</p> <p>これらの住宅施策を進めることで、住環境に満足する区民の割合は上昇し、93%を超えましたが、目標値には達しませんでした。</p> <p>まちづくり施策では、「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画」など既決定の地区計画区域内において提出された建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することにより、良好な住環境の形成を誘導します。また、まちづくりの取組については、まちづくりだよりの発行等を行うなど、今後も区民の理解を深める取組を継続していきます。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>区民が良質な住宅と良好な住環境の中でゆとりある住生活が送れるよう、新基本構想等を踏まえた施策を推進する中で、杉並区住宅マスタープランを改定します。高齢者等住宅確保要配慮者への福祉的視点を備えた対策を実施し、杉並区居住支援協議会の居住支援事業をこれまでと同様に支援していきます。また、空家等の発生抑制と適正な管理について広く周知するとともに、管理不全な空家等の問題解決に向け、杉並区空家等対策協議会の意見を踏まえながら適切に対応します。さらに、空家等活用モデル事業を行うとともに、民間との協働で空き家等の利活用に関する相窓口をモデル実施するほか、マンション管理については、条例に基づく管理状況届出制度の運用について、検討を進めます。</p> <p>区営住宅・高齢者住宅は、空き室修繕の機会を利用して高齢化に対応した住環境整備を進めるとともに、住宅ストックを有効に活用するために長寿命化などの事業を引き続き実施して、適正に住宅を管理していきます。</p> <p>まちづくり施策については、地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。</p>
--	--

# 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

( 0006 )

施策	06	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 産業振興センター みどり公園課

施策目標 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人が訪れたいと活気が生まれています。また活かなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名(2)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	景観新聞(景観録)の発行部数	指標名(3)	区内全駅の1日平均乗降人員
算式・指標説明		算式・指標説明	各鉄道会社の公表による(JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)実績及び目標値は前年度値を使用
指標名(4)	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数	指標名(4)	「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数
算式・指標説明		算式・指標説明	ページビュー数
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 回	56	38	48	40	26	
	活動指標(2)	2 回	10	5	6	5	7	
	活動指標(3)	3 部	17,500	17,500	17,500	17,300	17,300	
	活動指標(4)	4 回	17	16	14	17	13	
成果指標	成果指標(1)	5 %	92.6	94.5	92.6	95.0	93.7	95 令和 3年度
	成果指標(2)	6 %	78.6	84.0	80.5	85.0	79.6	85 令和 3年度
	成果指標(3)	7 人	759,900	750,000	759,871	759,000	556,016	759,000 令和 3年度
	成果指標(4)	8 件	767,743	660,000	793,691	670,000	937,082	670,000 令和 3年度
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	178,496	179,629	154,708	178,869	163,545	特記事項
	(内) 投資的経費等	12 千円	0	0	0	0	0	
	(内) 委託費	13 千円	110,703	107,405	96,835	104,199	97,033	
	職員数	14 人	15.54	14.42	16.38	14.85	17.11	
	上記以外の職員	15 人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	人件費(14+15)	16 千円	141,638	131,874	146,535	133,526	150,099	
	総事業費(11+16)	17 千円	320,134	311,503	301,243	312,395	313,644	
	国・都からの補助金等	18 千円	12,916	5,000	11,745	9,000	8,833	
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	19 %			5.9	0.3	4.1	
	人件費比率(16÷17)	20 %	44.2	42.3	48.6	42.7	47.9	



<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>これまで駅周辺は、まちづくりが進められて来ましたが、数十年が経ち環境の変化や建物の老朽化等により新たなまちづくりの必要性も出てきています。一方、既成市街地のため空地が少なく、再開発に伴う高度利用や商業地化に対して、様々な住民の意見があります。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年の訪日外国人旅行者数は令和元年比99%以上の減となる約25万人と大幅に減少していますが、今後の新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復を見据えて、引き続き「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを充実させるとともに積極的な情報発信に取り組みながら、まちのにぎわい創出につなげていく必要があります。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>まちのにぎわい創出に向けた取組として、「中央線あるあるプロジェクト」では、WEBやSNS等のほか、武蔵野市などと連携した情報発信を行う中で、著名人を起用した1月のWEB月間ページビュー数は、これまでで最大の約7万件となりました。また、「すぎなみ学倶楽部」では、タレントの阿佐ヶ谷姉妹のまち歩き記事等の閲覧が増加し、ページビュー数は令和2年度比143,391件増の937,082件となりました。 景観まちづくりの取組として、「杉並景観録」を17,300部作成し、配布しました。これらの取組により、杉並区の魅力が区内外に伝わっています。 荻窪駅周辺では、荻窪にふさわしいデザインのもと統一感を持って、まちづくりの取組を推進することを目的とした荻窪の地域ロゴマークの策定を行いました。また、地域団体の会議等への参加、荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行、パネル展の開催を通じて、荻窪駅周辺まちづくりに関する取組の普及啓発を行いました。荻外荘については、復原・整備に向けて、有識者の指導・助言のもと、文化庁と協議を行いながら(仮称)荻外荘公園復原整備工事の実施設計を完了しました。 西荻窪駅周辺では、コロナ禍の影響等を踏まえ、対面式だけでなくオンラインを活用した懇談会等の開催やまちづくりだよりの発行を行いました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 現状維持</p> <p>今後の進め方</p> <p>引き続き、民間団体や区民等と協働して「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等による一層効果的な情報発信を行うとともに、新たに令和4年度から西武新宿線や京王井の頭線沿線の観光資源を活用した「魅力発信事業」を開始することとしており、これらの取組を通じて、更なるにぎわいの創出を図ります。 荻窪駅周辺については、「荻窪駅周辺まちづくり方針」で掲げた目標の実現に向け、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の取組の推進や普及啓発活動を行います。 また、(仮称)荻外荘公園の開園に向けて総合的・一体的に施策を推進するため、回遊性の向上に関する取組を計画的に進めるとともに、オリジナルグッズの販売により荻外荘の復原・整備に向けた機運醸成と寄附金増額に向けた取組を進めます。 西荻窪駅周辺では引き続き懇談会等を開催し、地域の意見を伺うとともに、まちづくりだよりの発行など、まちづくりの取組への理解を深めながら、駅周辺まちづくり方針の策定を目指します。</p>
--------------------------	--

# 令和 4年度 杉並区施策評価表 I

( 00007 )

施策	07	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

施策目標 区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。  
 。区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が生かされるようになってきています。  
 。就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	融資あっせん件数	指標名(1)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
指標名(2)	装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数	指標名(2)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
指標名(3)	農家戸数	指標名(3)	商店街への満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名(4)	区内農業産出額
算式・指標説明		算式・指標説明	東京都農作物生産状況調査による(目標及び実績は、当該年度において直近でとれる数値)
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 件	521	1,000	1,054	1,000	894		
	活動指標(2)	2 商店街	11	14	10	10	10		
	活動指標(3)	3 戸	129	129	127	127	125		
	活動指標(4)	4 件	1,505	2,150	1,821	2,150	1,588		
成果指標	成果指標(1)	5 人	646	850以上	465	850以上	469	年850以上	令和 3年度
	成果指標(2)	6 件	90	80	111	80	102	年80件	令和 3年度
	成果指標(3)	7 %	66.6	64	64.5	65	59.0	65	令和 3年度
	成果指標(4)	8 (百万円)	315	365	315	370	306	370	令和 3年度
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	678,923	1,364,526	1,173,713	1,178,504	935,142	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中小事業者支援事業の実績減や商店街イベントの中止などにより、事業費実績が対計画比で79.3%となりました。	
	(内) 投資的経費等	12 千円	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	13 千円	216,202	459,395	413,132	297,335	287,592		
	職員数	14 人	18.28	16.12	21.21	21.00	20.30		
	常勤職員数(再任用含)	15 人	11.00	11.50	14.36	12.00	11.54		
	人件費(14+15)	16 千円	193,245	175,954	232,448	222,102	211,777		
	総事業費(11+16)	17 千円	872,168	1,540,480	1,406,161	1,400,606	1,146,919		
	国・都からの補助金等	18 千円	82,171	51,159	524,250	110,324	225,160		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	19 %			61.2	9.1	18.4		
	人件費比率(16÷17)	20 %	22.2	11.4	16.5	15.9	18.5		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大や原油価格・物価高騰等により、区内の中小事業者や商店街等は大きな影響を受けており、今後とも社会情勢の変化に即した支援を実施していく必要があります。農業では、相続や後継者不足などから農地面積及び農家戸数が減少傾向にある中、多面的な役割を有する都市農地の定義を踏まえ、引き続き適切に保全を図る必要があります。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>杉並区産業振興計画に基づき、次のとおり、区内産業の振興に取り組みました。 商店街支援では、商店街のにぎわいにつながるイベント事業等への補助に加え、コロナ禍における取組として、商店街が購入するアクリル板や消毒液などの感染対策物品の経費等への補助を33件実施したほか、プレミアム付商品券を販売し、総額約10億1,000万円が区内取扱店舗で利用されました。 中小企業支援では、中小企業資金融資あっせん制度の新型コロナウイルス感染症対策特例資金と信用保証料全額補助について、支援内容の拡充や期間の延長等を行いました。なお、感染症拡大が落ち着いてきたことにより、あっせん件数は、令和2年度と比較して132件(令和2年度805件)の減少となっています。また、令和2年度末に創設した「新ビジネススタイル事業導入助成」を継続実施し、令和3年度は、事業形態を転換する事業90件と新事業を開拓する事業152件の支援を行いました。 農業分野では、営農活動支援補助金の交付などにより、効率的で安定した農業経営を目指す農業者を支援してきましたが、農家戸数が年々減少傾向にあり(令和2年度比2戸減)、区内農業産出額も減少(令和2年度比900万円減)しました。また、令和3年4月に全面開園した農福連携農園では、障害者施設等への団体利用農園区画の貸し出しや食材提供による運営支援等の各種事業を区民ボランティアの協力を得ながら推進しました。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 813 718 1211"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 813 1560 1211"> <p>拡充</p> <p>改定後の杉並区産業振興計画等に基づき、区内産業の振興を図っていきます。 商店街支援では、新たなスキームによるイベント補助事業のほか、老朽化した商店街施設・設備の整備等への補助を通して、地域住民がより安心・安全に買い物ができる環境を整備し、にぎわいと活力のあるまちをつくっていきます。 中小企業支援では、令和4年度から、家賃助成や融資に伴う信用保証料補助等により創業支援を拡充するとともに、研究機関等と共同で新製品の開発などを行う際の費用の補助を実施します。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による雇用の悪化が懸念される中、引き続き、生活自立支援窓口や就労関係機関等との連携を図り、利用者への適切な支援に努めていきます。 農業においては、高齢化や後継者不足など様々な課題を抱える農業者の個々のニーズに応じた一層きめ細やかな相談・支援を行うため、農業者のニーズを踏まえた援農ボランティアの更なる活用策等を検討し、都市農地の保全を引き続き図っていきます。また、農福連携農園では、福祉との連携事業のほか、区民・地域との連携事業を充実していきます。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>拡充</p> <p>改定後の杉並区産業振興計画等に基づき、区内産業の振興を図っていきます。 商店街支援では、新たなスキームによるイベント補助事業のほか、老朽化した商店街施設・設備の整備等への補助を通して、地域住民がより安心・安全に買い物ができる環境を整備し、にぎわいと活力のあるまちをつくっていきます。 中小企業支援では、令和4年度から、家賃助成や融資に伴う信用保証料補助等により創業支援を拡充するとともに、研究機関等と共同で新製品の開発などを行う際の費用の補助を実施します。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による雇用の悪化が懸念される中、引き続き、生活自立支援窓口や就労関係機関等との連携を図り、利用者への適切な支援に努めていきます。 農業においては、高齢化や後継者不足など様々な課題を抱える農業者の個々のニーズに応じた一層きめ細やかな相談・支援を行うため、農業者のニーズを踏まえた援農ボランティアの更なる活用策等を検討し、都市農地の保全を引き続き図っていきます。また、農福連携農園では、福祉との連携事業のほか、区民・地域との連携事業を充実していきます。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>拡充</p> <p>改定後の杉並区産業振興計画等に基づき、区内産業の振興を図っていきます。 商店街支援では、新たなスキームによるイベント補助事業のほか、老朽化した商店街施設・設備の整備等への補助を通して、地域住民がより安心・安全に買い物ができる環境を整備し、にぎわいと活力のあるまちをつくっていきます。 中小企業支援では、令和4年度から、家賃助成や融資に伴う信用保証料補助等により創業支援を拡充するとともに、研究機関等と共同で新製品の開発などを行う際の費用の補助を実施します。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による雇用の悪化が懸念される中、引き続き、生活自立支援窓口や就労関係機関等との連携を図り、利用者への適切な支援に努めていきます。 農業においては、高齢化や後継者不足など様々な課題を抱える農業者の個々のニーズに応じた一層きめ細やかな相談・支援を行うため、農業者のニーズを踏まえた援農ボランティアの更なる活用策等を検討し、都市農地の保全を引き続き図っていきます。また、農福連携農園では、福祉との連携事業のほか、区民・地域との連携事業を充実していきます。</p>		